

【意思決定支援ツール OOVL の紹介】

- ***OOVL** は、アメリカの看護学研究者 S.Corcoran-Perry らが、臨床看護実践における意思決定を研究する中で開発したものです。Corcoran らは、高齢者を介護する配偶者の意思決定や、経験年数による看護師の意思決定の違いなど多くの研究を発表しています(Corcoran 2000)
- ***OOVL** は、意思決定に関係する各要素を 1 つの表に組み合わせ可視化することにより、総合的に状況を把握・検討し、質の高い意思決定を支援するためのツールです。
- ***OOVL** は、個人の意思決定にも、チームなど小集団の意思決定にも使うことができます。
- ***Options** (選択肢)、**Outcomes** (判断基準 (成果))、**Values** (重みづけ)、**Likelihoods** (実現可能性)

*事例：私たちはいつも意思決定している。

状況：私は研修講師のときは、早めに研修会場に着くようにしている。しかし、今回は早目に着きすぎ、会場がまだ開いていない。幸い会場が駅前なのですぐ近くに、スタバ、マクド、ミスドがある。会場が開くまでの 20 分間どこで時間つぶしをするか？私は、その 20 分間は落ち着ける場所で、研修資料を再確認したい。

意思決定のプロセス

① 問題の認識・特定

20 分間、落ち着いて資料を見返せる場所はどこか

② Options：選択肢の列挙

駅前の 3 つのカフェ（スタバ、マクド、ミスド）

③ Outcomes: 判断基準（成果）の特定

（落ち着ける、明るい、飲み物、手軽さ(時間、費用)、換気が良い）の 5 点

④ Values：判断基準（成果）の重みづけ

（落ち着ける、換気が良い）が最も大事で +++ (×3)とした。

⑤ Likelihoods：判断基準に基づき選択肢の実現可能性を（○、△、×）で評価した

< OOVL に表記したもの >

① 問題	③ Outcomes				
20 分間落ち着いて資料を見返せる場所は	落ち着く	明るさ	換気が良い	手軽さ	飲み物
④ Values →	+++ (×3)	++ (×2)	+++ (×3)	++ (×2)	+(×1)
② Options スタバ	○	△	△	○	△
マクド	○	○	△	×(2F 席)	△
ミスド	○	○	○	○	△

⑥ 選択肢の決定：どの判断基準(成果)も、最も満たしているミスドに決定

*ポイント

- 実現可能性（○:3 点、△:2 点、×:1 点）に重みづけ（×1～×3）を掛けると総合点が出る。
ただし点数がすべてではなく、最終的に意思決定する際のあくまで参考である。
- 適切な意思決定には、現実の詳細な情報が必要
- (②Options：選択肢の列挙)と(③Outcomes: 判断基準（成果）の特定)は、どちらを先に考えても可。
- OOVL を用いて考えてゆくと、今後必要な情報や、すべき対応が見えてくる。